



みどり

第5号 令和元年9月3日

～響けあいさつ 学びいっぱい 仲間とともに輝く みどりの子～

下野市立緑小学校 高橋 美恵子



前期後半が始まりました！



楽しかった夏休みも終わり、元気な子どもたちの声が学校中に響き、活気が戻ってきました。子どもたちは、夏休みのテーマだった「未来の自分のために」いろいろな体験や活動がんばったのでしょう、初日からとてもいい顔で登校してきました。

これからは、勉強するにも運動するにも絶好の季節となります。子どもたちには、精一杯、力を発揮してほしいと思います。教職員も、児童一人一人がこれまで以上に頑張れるよう、全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



とちぎっ子学習状況調査の結果（緑小の概要）

4月18日（木）に、4・5年生の全員を対象に実施された県版の学力調査「とちぎっ子学習状況調査」（国・算・理）の結果について、本校の平均正答率等をお知らせいたします。県教委は7月31日に結果を公表し、「小4理科と中2国語を除く9教科で正答率が前年度を上回った」と発表しています。今後は、この分析結果をもとに指導改善を図り、さらに確かな学力の向上に努めてまいります。

※各教科とも、「基礎・基本」の問題と「活用」（思考・判断力と表現力）の2つの内容に分けられています。

☆大きく上回っている（15ポイント以上）

◎大きく上回っている（10ポイント以上）

○上回っている（5ポイント以上 10ポイント未満）

— 同程度（±1ポイント未満）

(1) 教科全体・・・栃木県平均正答（%）率との比較

	国語	算数	理科
4年生	◎	◎	☆
5年生	◎	☆	◎

【傾向】 全体的に見ると、どちらの学年も県平均正答率を大きく上回っている。5年生は算数、4年生は理科が特にできていた。

(2) 「基礎・基本」「活用」別

4年生	国語	算数	理科
基礎・基本	☆	◎	☆
活用	○	☆	☆

【傾向】 4年生は、「基礎・基本」も「思考・判断・表現」も県平均を大きく上回っている。特に国語では書く力、算数では数学的な考え方、理科では科学的な思考・表現の正答率が高い。さらに、国語では話す・聞く力、算数では数量や図形についての技能、理科では観察・実験の技能を伸ばしていきたい。

5年生	国語	算数	理科
基礎・基本	◎	☆	○
活用	◎	☆	☆

【傾向】 5年生は、「基礎・基本」も「思考・判断・表現」も県平均を大きく上回っている。特に国語では書く力、算数では数学的な考え方、理科では自然事象への感心・意欲・態度の正答率が高い。さらに国語では言語についての知識・理解・技能、算数では数量や図形についての技能、理科では自然事象についての知識・理解を伸ばしていきたい。

(3) 領域別

国語	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質
4年生	◎	☆	☆	◎
5年生	◎	☆	◎	○

【傾向】 領域別では、4・5学年とも、どの教科も県平均を大きく上回っている。さらに、4年生の国語では「国語辞典の使い方」、算数では「分数の数直線上の表し方」について、学習内容を復習し定着を図りたい。5年生の国語では「言葉の学習（修飾語）」、理科では「水の状態変化」について学習内容を復習し、定着を図っていきたい。

算数	数と計算	量と測定	図形	数量関係
4年生	◎	☆	☆	☆
5年生	☆	☆	◎	◎

理科	物質・エネルギー	生命・地球
4年生	☆	◎
5年生	○	◎

(4) 課題と考えられる設問内容の傾向

- ・4年生は国語において、活用の「思考・判断力」の正答率がやや低い。5年生は算数と理科において、活用の「表現力」の正答率がやや低い。
- ・選択式の問題より、記述式の問題の正答率がやや低い。→「考えを書く」「情報を適切に読み取り文を書く」「理由を説明する」等

(5) 児童質問紙の回答から

4・5年生とも「とちぎっ子学習状況調査結果（下野市の概要）の結果」で挙げられている内容は、「はい」「どちらかといえばはい」の割合が80%をこえている。

【「はい」「どちらかといえば はい」の割合が、とくによい項目（90%以上）】

- 4年生→・家で自分で計画を立てて勉強している。 ・友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
・勉強しておもしろい、楽しいと思うことがある。 ・授業を集中して受けている。
・できるだけ自分一人の力で課題を解決しようとしてる。 ・学習に対して自分から進んで取り組んでいる。
・グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。 ・授業を集中して受けている。
・役割や係の仕事に責任をもって取り組んでいる。
- 5年生→・家で自分で計画を立てて勉強している。 ・家でテストで間違えた問題について勉強している。
・勉強していて「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。
・学習に対して自分から進んで取り組んでいる。 ・友達の話や意見を最後まで聞くことができる。
・できるだけ自分一人の力で課題を解決しようとしている。 ・授業を集中して受けている。
・グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。 ・役割や係の仕事に責任をもって取り組む。

【考察】4・5年共通

- ①「毎日、朝食を食べている」「自分は家族の大切な一員だと思う」「家でのきまりを守っている」等、本校児童は、親の愛情をしっかりと感じ取って育っている。これからも保護者の皆様と協力し、達成感や充実感を味わうことのできる教育活動を進めていきたい。
- ②「自分にはよいところがある」「誰に対しても思いやりの心をもって接している」「自分のよさを人のために生かしたい」「自分も持っている能力を十分発揮したい」等、肯定的に回答している児童がたくさんおり、自己有用感が高まってきている。また、「学習して身に付けたことは将来の仕事や生活の中で役に立つ」など、将来の夢や目標ももっているのが分かる。
- ③ 学習のけじめや学級力（学習に対する学級の雰囲気）は、県平均を上回り対話力や共生力（学び合おうとする雰囲気）も高くなっている。そして、「毎日の生活が充実していると感じている」児童が多い。そこで「学級力」をさらに伸ばし、一人一人の学力向上に結びつけていきたい。
- ④ 1日当たりのコンピュータや携帯ゲーム等をする時間は、全くしない又は1時間未満が県平均より多い。また、1か月当たりの読書量も県平均より多い。10冊以上を読む児童が4年生で2割、5年生で3割いる。長文の問題を読み通し内容を理解する力や文を書く力を高めるために、これからも読書活動を奨励していきたい。

夏休み中、先生方も研修に努めました。

夏休みの期間、本校の先生方は、県や市・校内での研修会や会議、備品や各教室の整理、諸帳簿の整理等に取り組みました。

<8月5日、南河内第二中学区小中一貫教育研修会>



第3回南河内第二中学区小中一貫教育研修会を市役所で実施しました。今回は、5つのチームの取り組みの共通理解と、これからの取り組みについての話し合いでした。次回の小中一貫の日は11月20日（水）です。

<緑小独自の研修>

校内研修会では、全教員で「新教育課程研修」「ミニ英語研修」「特別支援教育研修」「全国学力学習状況調査分析・対策研修」「学力向上推進研修」「研究授業の指導案検討」

等に取り組みました。研修で学んだことを9月から、子どもたちへの指導に生かしていきます。



<お知らせとお願い>

- ・個人面談では、暑い中、大変お世話になりました。
- ・8月31日（土）の親子奉仕活動、大変お世話になりました。校庭や学校のまわりがとてもきれいになり、気持ちよく前期後半をスタートさせることができました。
- ・全国学力・学習状況調査の結果については、学校だより9月9日号にて、お知らせいたします。